

建築設備設計基準ソフトウェア

STABRO ダクト抵抗 H30

セットアップガイド(USB 版)

2021 年 2 月
株式会社イズミシステム設計

目次

はじめに.....	3
必要システム	3
ダウンロード版の内容	3
パッケージ版の内容.....	3
セットアップを始める前のご注意.....	4
セットアップ	5
セットアップの流れ	5
本ソフトウェアのインストールを行う.....	6
インストール済みソフトウェアの削除.....	18
削除の流れ.....	18
本ソフトウェアの削除を行う	18
フォルダとファイル構成.....	20

はじめに

このソフトウェアは、ハードディスクにインストールして使用します。
インストールは必ず専用プログラムにて行ってください。

必要システム

本ソフトウェアを運用するための機器構成、ソフトウェアは以下のとおりです。

OS	Microsoft Windows 8.1 (32bit(x86)/64bit(x64)版に対応) Microsoft Windows 10 (32bit(x86)/64bit(x64)版に対応)
コンピュータ本体とメモリ	お使いの OS が推奨する環境以上
ディスプレイ	1024×768 ピクセル以上 HighColor 以上を推奨
ハードディスク	インストール時に 20MB 以上の空きエリアが必要
ディスク装置	CD-ROM ドライブ ※パッケージ版の場合に必要
インターフェイス	USB 2.0 / USB 1.1
必須コンポーネント	Microsoft .NET Framework 4.6 ※ セットアップ時に自動的にインストールされます。
必須ソフトウェア	Microsoft Excel 2010/2013/2016 ※ 上記ソフトウェアは、本製品で印刷、ファイル出力等を行うために必要です。 Adobe Reader DC 以降 ※ 上記ソフトウェアは、操作マニュアル等の各種ドキュメントファイルの閲覧や印刷するために必要です。

ダウンロード版の内容

圧縮ファイル	セットアッププログラム等のファイルが納められた圧縮ファイルです。
--------	----------------------------------

パッケージ版の内容

CD-ROM	セットアッププログラム等のファイルが納められたディスクです。
セットアップガイド	現在ご覧になっている説明書です。 ソフトウェアのセットアップ方法について記述しています。
ハードウェアキー(USB)	ソフトウェアプロテクトのための USB タイプハードウェアキーです。
ソフトウェア製品証	本製品のライセンスに関する製品証です。 こちらにプロダクトキーが記載されています。
ユーザー登録シート	ユーザー登録シート
ユーザー登録・お問い合わせについて	サポートについての説明と、質問・要望に使用する用紙です。

セットアップを始める前のご注意

◆ライセンスについて

本ソフトウェアは、不正使用防止のために、USB キー方式(ハードウェア方式)によるプロテクトを採用しています。
ライセンスが認証されない場合、起動できません。

◆ユーザー アカウントについて

ソフトウェアのインストール／削除を行う場合は、「管理者」ユーザーでログオンしている状態で作業してください。
(もし、「管理者」以外のユーザーでログオンしている場合は、「管理者」ユーザーのパスワードを入力する必要があります。)

なお、ソフトウェアの運用は、「管理者」以外のユーザーでも使用できます。

◆マニュアル等のドキュメントについて

マニュアル等のドキュメントは、ソフトウェアのインストールを行うと同時にコピーされます。
閲覧または印刷を行う場合は、インストール完了後に「スタート」メニューに作成されるショートカットから該当ドキュメントを表示させ、ご利用ください。

◆インストール中の操作について

USB キードライバーがない場合や古い場合は、最新版のインストールを行います。インストールは、USB キーを抜いた状態で実行してください。

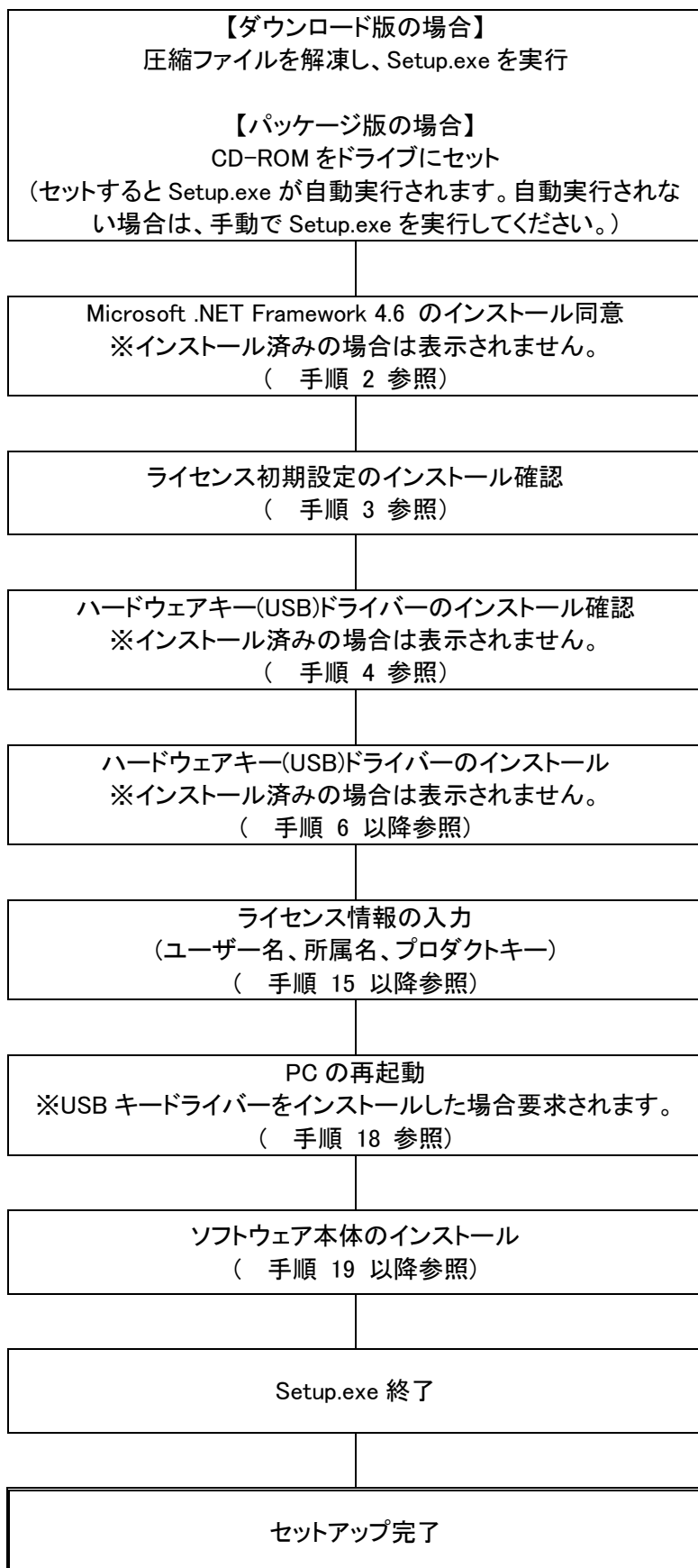
インストールの流れの中で再起動を要求される場合があります。編集中のファイルは保存しておくなど、`setup.exe` と本書以外の画面は、一度閉じてから作業していただけますよう、お願いいたします。

本手順と異なる場面で再起動を実行してしまった場合や途中で `setup.exe` を終了してしまった場合、再度実行していただければ続きの箇所からインストール処理が再開しますので、ご承知おきください。`setup.exe` を再実行する方法は、手順 1 をご確認ください。

セットアップ

セットアップの流れ

本ソフトをセットアップする流れを次に示します。



本ソフトウェアのインストールを行う

以下の手順で本ソフトウェアのインストールを行います。

手順 1

【ダウンロード版の場合】

ダウンロード版は ZIP 圧縮されていますので、まずはファイルを解凍してください。
起動しているアプリケーションをすべて終了してから、解凍されたフォルダ内の Setup.exe を実行してください。

【パッケージ版の場合】

起動しているアプリケーションをすべて終了してから、本ソフトウェアの CD-ROM をドライブにセットします。
数秒すると Setup.exe が自動起動されます。
※自動起動されない場合は、CD-ROM 内の Setup.exe を実行してください。

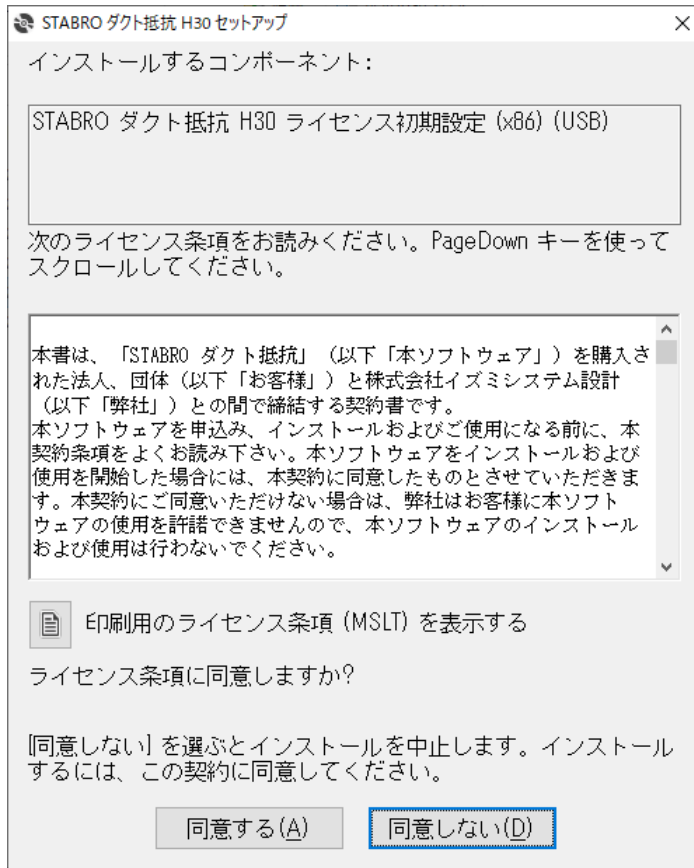
手順 2



Microsoft .NET Framework 4.6 のインストールの同意です。ライセンス条項を確認の上、[同意する]ボタンをクリックします。

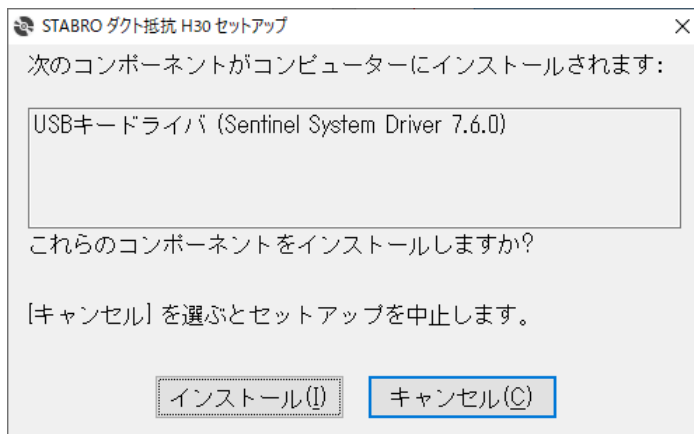
※インストール済みの場合は、表示されません。

手順 3



ライセンス初期設定のインストール確認です。
内容をご確認の上、[同意する(A)]ボタンをクリックします。

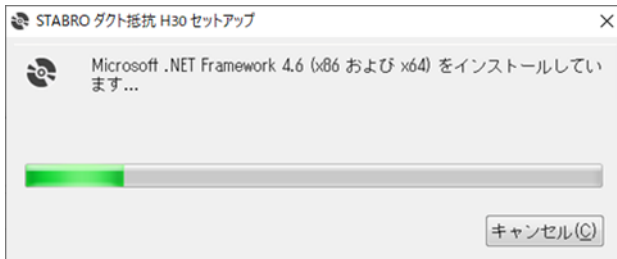
手順 4



USB キードライバーのインストール確認です。
[インストール(I)]ボタンをクリックします。

手順 5

手順 2 を行った場合は、Microsoft .NET Framework 4.6 のインストールとなります。
インストールする前に「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されることがありますが、画面確認のうえ「はい」をクリックして進めてください。



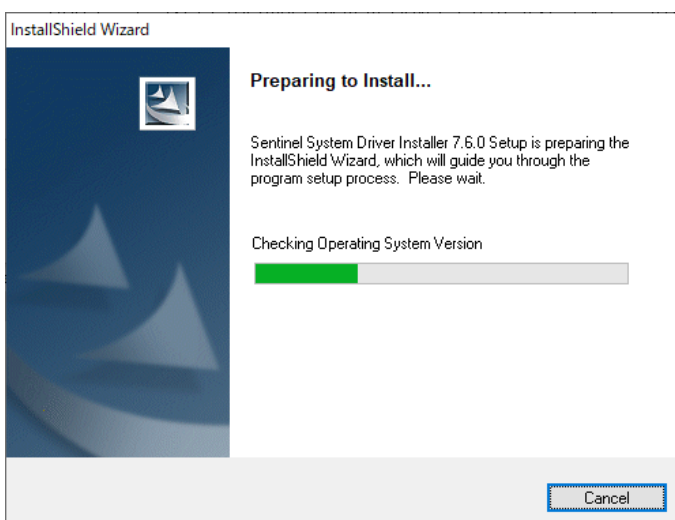
Microsoft .NET Framework 4.6 のインストールが終了するまで、数分～数十分を要します。

手順 6

USB ドライバーをインストールします。



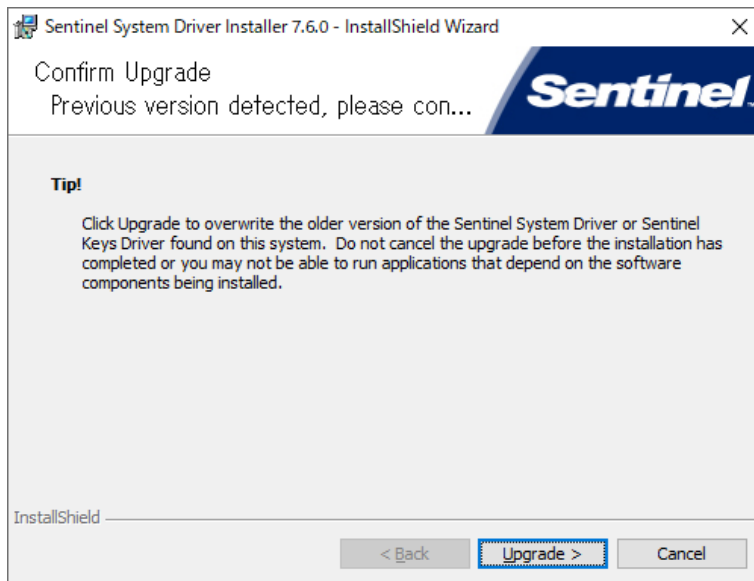
インストールする前に「ユーザーアカウント制御」画面が表示されることがありますが、「はい」をクリックして進めてください。



USB キードライバーのインストール準備画面です。次の画面が表示されるまでお待ちください。

手順 7

USB キードライバーのアップグレード確認です。



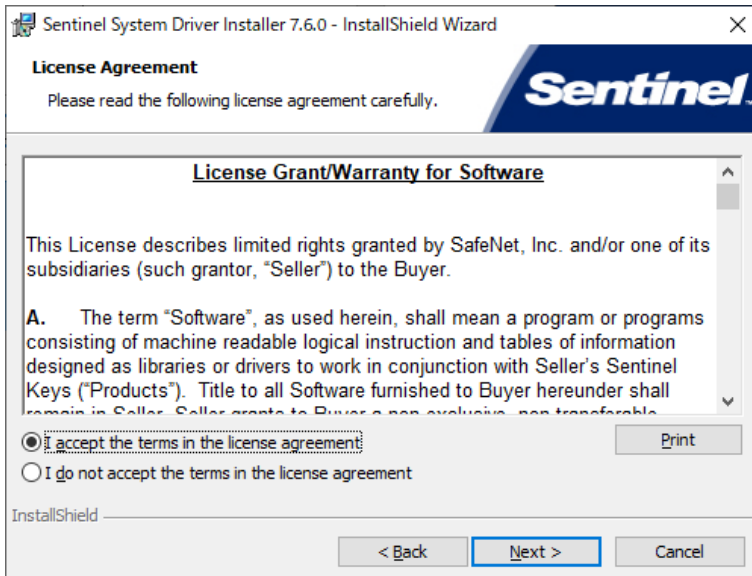
ダクト抵抗 国土交通省仕様 平成 27 年版などをご利用いただいていた場合など、旧版の USB キードライバーがインストールされていると上記メッセージが表示されます。確認メッセージですので、[Upgrade >]で進めてください。

手順 8



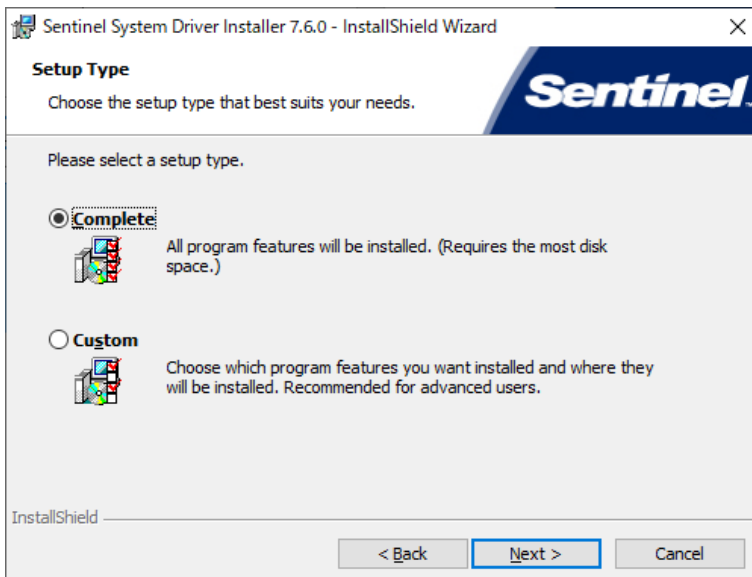
USB キードライバーのインストール開始の画面です。[Next >]ボタンをクリックします。

手順 9



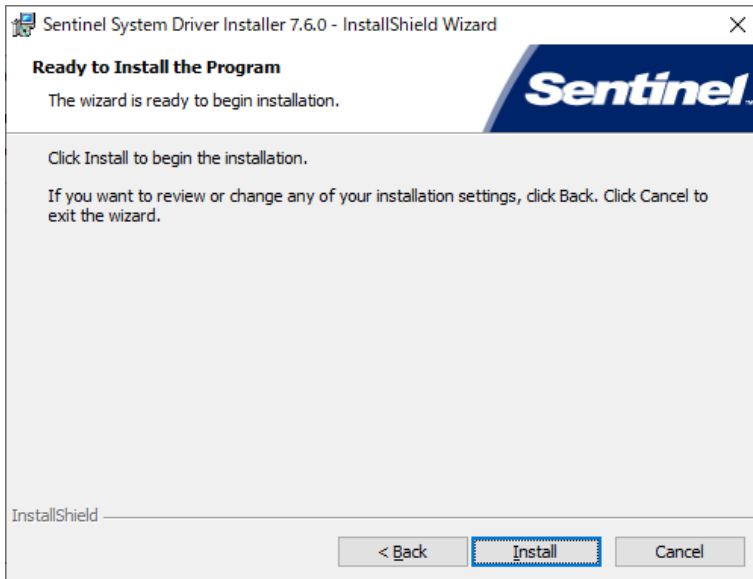
ハードウェアキードライバーの使用許諾契約について表示されます。
[I accept the terms in the license agreement](使用許諾契約の条項に同意します)を選択し[Next >]ボタンをクリックします。

手順 10



セットアップ種類選択の画面です。
[Complete]を選択し[Next >]ボタンをクリックします。

手順 11

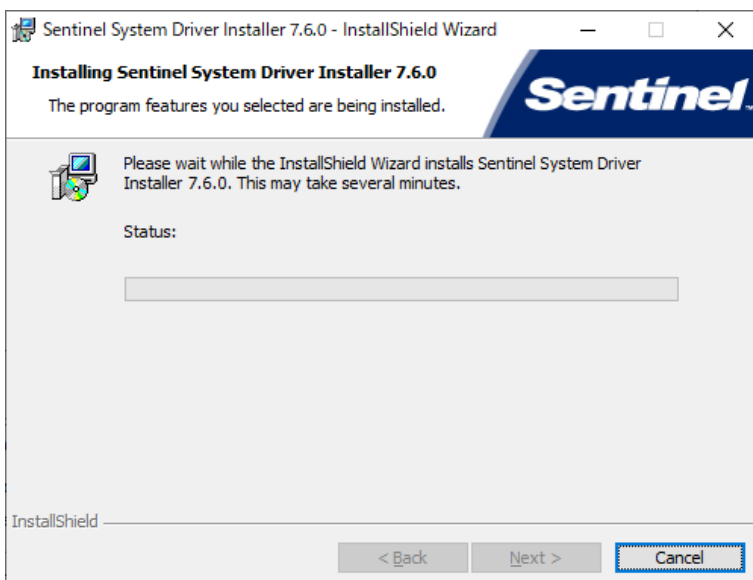


インストール開始画面です

ハードウェアキーが取り外されていることを確認してから、[Install] ボタンをクリックして、インストールを開始してください。

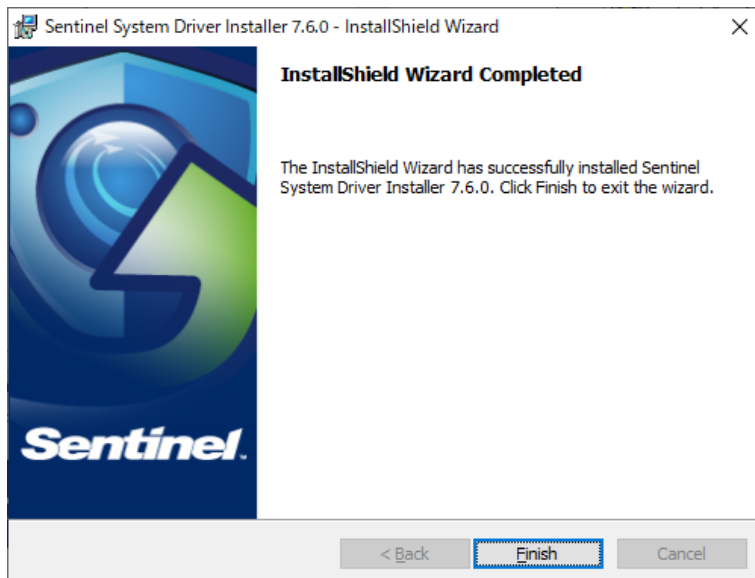
重要

必ずハードウェアキーを PC から取り外した状態で、ドライバーをインストールしてください。



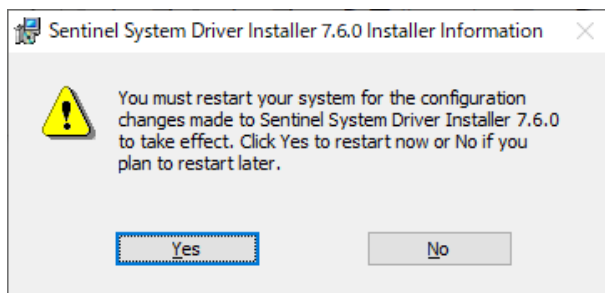
インストール中の画面です。進捗状況が表示されます。

手順 12



以上でハードウェアキードライバーのインストールが完了しました。[Finish]ボタンをクリックします。

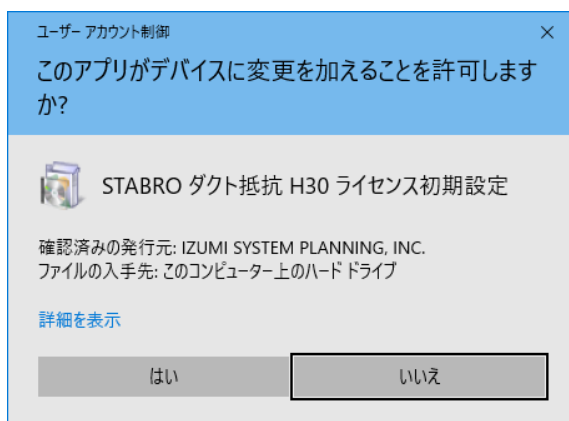
手順 13



インストールが完了すると、PC の再起動を要求されます。ここでは再起動はせず、[No]ボタンを押して、次の手順に進んでください。

手順 14

ライセンス初期設定のインストールに進みます。



インストールする前に「ユーザーアカウント制御」画面が表示されることがありますが、「はい」をクリックして進めてください。

手順 15

ユーザー名と所属名の入力画面です。
ユーザー名はライセンスに必要な情報となりますので、必ず入力してください。
入力した内容に間違いがなければ[次へ(N) >]ボタンをクリックします。

手順 16

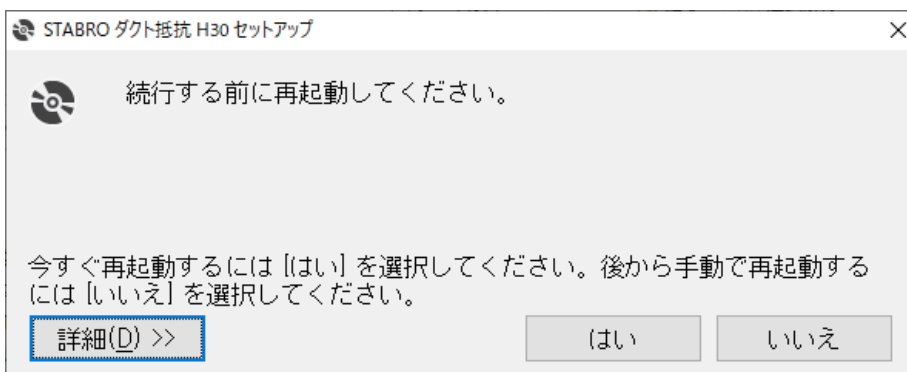
プロダクトキーの入力画面です。
CD ケース内の「ソフトウェア製品証」に記載されたプロダクトキーを正しく入力してください。
入力した内容に間違いがなければ[次へ(N) >]ボタンをクリックします。

手順 17



プロダクトキー情報の登録画面です。
表示されている内容の間違いがなければ[次へ(N) >]ボタンをクリックします。

手順 18



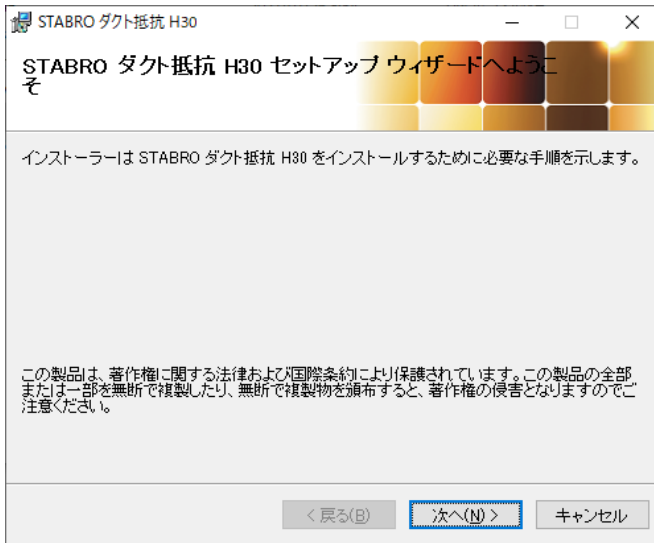
ここまで進むと、再度 PC の再起動を要求されます。要求された場合の**再起動は必須**ですので[はい]で再起動してください。

※ 編集中のファイル等がある場合は、事前に保存などの対応をしておいてください。

※ USB キードライバーが既にインストール済みだった場合など、本メッセージは表示されない場合があります。その際は、本手順は飛ばして進めてください。

手順 19

PC の再起動が完了すると、自動的にセットアップウィザードが起動します。
以下画面が表示されない場合は、手順 1 を参考に setup.exe を再度実行してください。
再起動が不要だった場合は、そのまま進めてください。



ウィザード画面が起動したら[次へ(N)]をクリックします。

手順 20

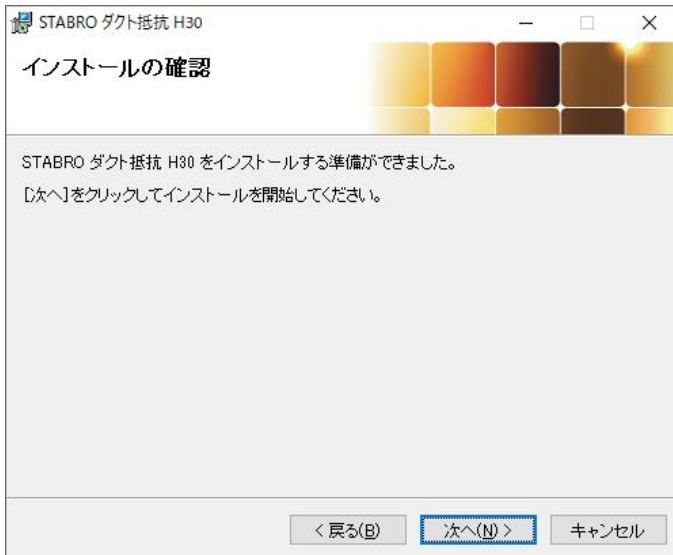


通常は初期値のまま進めますが、[参照(R)...]ボタンをクリックすると別の場所を指定することができます。

※左記の初期値は 64bit 版 OS のものです。

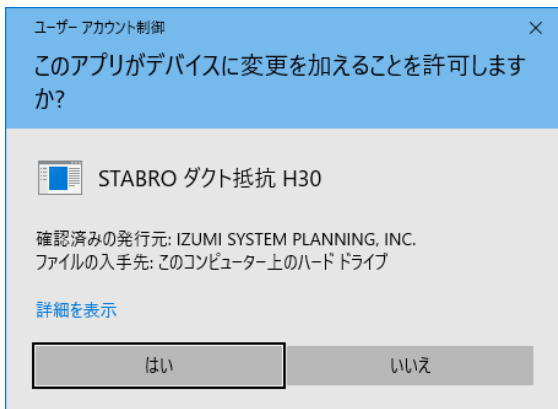
インストール先を指定する画面です。
入力した情報に間違いがなければ[次へ(N)]ボタンをクリックします。

手順 21



インストールの確認画面です。[次へ(N) >]ボタンをクリックするとインストールを開始します。

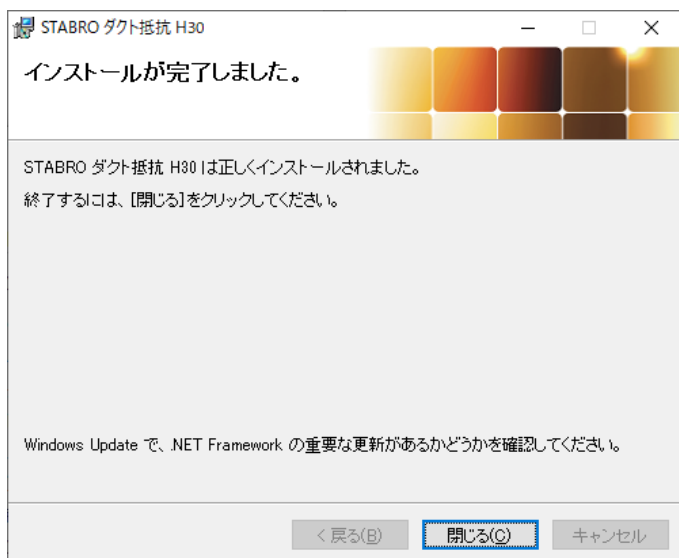
手順 22



本ソフトウェア本体をインストールする前に「ユーザーアカウント制御」画面が表示されることがありますが、「はい」をクリックして進めてください。



インストール中の画面です。



以上でインストールが完了しました。[閉じる(C)]ボタンをクリックします。

インストールが正しく行われると、次の場所にショートカットが作成されます。

ショートカット名

“STABRO ダクト抵抗 H30”

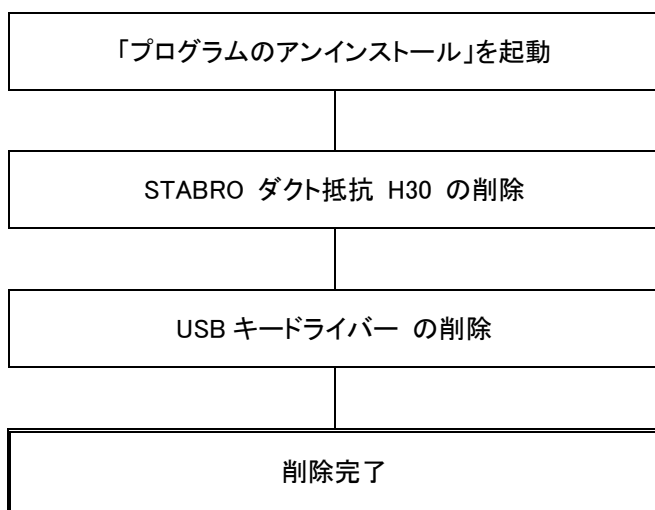
場所

- ・デスクトップ
- ・スタートメニューの “STABRO ダクト抵抗 H30” フォルダ内

インストール済みソフトウェアの削除

削除の流れ

インストールした本ソフトを削除する流れを次に示します。



本ソフトウェアの削除を行う

以下の手順で削除を進めてください。

手順 1

プログラムのアンインストールを開きます。

【Windows 10 の場合】

Windows のスタートボタンをクリックし、歯車アイコンの「設定」- 「アプリ」を開きます。

【Windows 8.1 の場合】

Windows のスタートボタンをクリックし、[コントロールパネル] - 「プログラムのアンインストール」を選択します。

手順 2

STABRO ダクト抵抗 H30 をアンインストールします。

【Windows 10 の場合】

「アプリと機能」で「STABRO ダクト抵抗 H30」を検索し、[アンインストール]ボタンをクリックすると削除プログラムが実行されます。

【Windows 8.1 の場合】

「STABRO ダクト抵抗 H30」を選択してから、[アンインストール]ボタンをクリックすると削除プログラムが実行されます。

以降、画面にしたがって削除してください。

手順 3

USB キードライバーをアンインストールします。
※他のソフトでも同じドライバーをご利用中の場合、削除不要です。

【Windows 10 の場合】

「アプリと機能」で「Sentinel System Driver Installer 7.x.x」を検索し、[アンインストール]ボタンをクリックすると削除プログラムが実行されます。

【Windows 8.1 の場合】

「Sentinel System Driver Installer 7.x.x」を選択してから、[アンインストール]ボタンをクリックすると削除プログラムが実行されます。

以降、画面にしたがって削除してください。

※アンインストール中に「ユーザーアカウント制御」画面が表示されることがありますが、「はい」をクリックして進めてください。

【注意！】

- ・「管理者」又は「標準ユーザー」でログオンしている状態で作業してください。
- ・「管理者」以外のユーザーの場合は、管理者のユーザー名とパスワードの入力が必要になります。
- ・弊社管理サーバーから情報を正しく削除するには、インターネットに接続されている必要があります。

フォルダとファイル構成

インストール時または起動時に作成される、フォルダやファイルを次に示します。

1) インストール時にコピーされるフォルダとファイル

C:\Program Files (x86)\Dsp 3.31	
Dsp.exe	プログラム本体
DspMaster.mdb	マスターデータファイル
Dsp PrintBook.xls	帳票テンプレートファイル
Dsp Document.ico	ドキュメントアイコンファイル
C:\Program Files (x86)\Dsp 3.31\Documents	
*.pdf	各種マニュアル・説明書ファイル
C:\Program Files (x86)\Dsp 3.31\Picture1	
*.bmp	ピクチャー1ファイル
C:\Program Files (x86)\Dsp 3.31\Picture2	
*.bmp	ピクチャー2ファイル
C:\Program Files (x86)\Dsp 3.31\Picture3	
*.bmp	ピクチャー3ファイル
C:\Program Files (x86)\Dsp 3.31\SampleDatas	
*.dsp	サンプルデータファイル

※上記ドライブ名は、Cドライブにインストールした場合です。

※(x86)表記は 64bit 版 OS の場合の初期値です。

※上記フォルダ名は、インストール時に変更していない場合です。

2) 起動時に作成されるフォルダとファイル

C:\Users\ユーザー名\AppData\Local\Izumi System Planning\Dsp\3.31	
Dsp.ini	システム本体の初期化ファイル
DspMaster.mdb	マスターデータファイル

※上記のプログラムやデータ以外に、プログラムを実行するために必要なファイルを Windows システムフォルダにコピーします。